

会 議 結 果

会 議 名 (審議会等)	令和6年度 第3回高砂市子ども・子育て・若者会議
開催日時	令和6年11月28日(木) 18:30~20:30
場 所	高砂市役所 南庁舎5階 大会議室
会議公表	<input checked="" type="checkbox"/> 公 開 (傍聴者定員数: 3 人) (傍聴者数: 0 人) <input type="checkbox"/> 非公開 (非公開理由: (例) 情報公開条例第7条の規程に該当するため。等)
事務局 (担当課)	健康子ども部子育て支援課 (TEL079-443-9024)
議 題	(1) 市内認可施設の利用定員の設定及び変更について (2) 高砂市子ども・子育て・若者支援プラン(素案)について (3) 高砂市子ども・子育て・若者支援プランのパブリックコメント実施について
出席者	井上寿美委員長、平田真二副委員長、小林謙委員、藤本有希委員、福井姿寿子委員、竹内茂雄委員、濱田梓委員、平川めぐみ委員、日野早代委員、山下真梨委員、稲澤遥樹委員、大和屋浩子委員、栗路徹委員、崎谷教雄委員
結 果 (議事録又は議事概要)	
発言者	内 容
事 務 局	<p>皆さんこんばんは。本日はお忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。どうぞよろしくお願いたします。</p> <p>会議の開会の前に、本日の会議資料の確認をさせていただきたいと思います。資料につきましては事前に郵送にて送付させていただいております。</p> <p>まずは、会議の配席図と、会議次第、それと資料1としまして「利用定員の設定及び変更について」、資料2としまして「高砂市子ども・子育て・若者支援プランの素案」、資料3としまして「高砂市子ども・子育て・若者支援プランの子ども版」を事前に郵送させていただいております。お手元に資料のない方はいらっしゃいませんか。</p> <p>それと本日、机上に「若者未来会議」のチラシも配布させていただいております</p>

<p>事務局</p>	<p>ので、ご確認よろしくお願ひいたします。</p> <p>1 開 会</p> <p>それでは、令和6年度第3回高砂市子ども・子育て・若者会議を開会いたします。開会に先立ちまして、当会議の公開について、高砂市審議会等会議の公開に関する指針に基づきまして、公開とさせていただきます。</p> <p>また本日の傍聴者につきましては、0名となっておりますのでよろしくお願ひいたします。</p> <p>議題に入る前に、本日の委員20名のうち、遅れての出席の委員も聞いておるんですが現在13名の出席をいただいております。出席者が過半数となっておりますので、高砂市子ども・子育て・若者会議条例第6条第2項により、会議は成立しておりますことをご報告申し上げます。</p> <p>それでは、健康こども部長、藤田よりご挨拶申し上げます。</p>
<p>健康こども部長</p>	<p>皆さんこんばんは。健康こども部長の藤田でございます。</p> <p>本日はお忙しい中、また年末のお忙しい時期にお集りいただきましてありがとうございます。</p> <p>平素より、本市の子ども・子育て支援並びに若者育成にご支援ご協力賜りまして、重ねてお礼申し上げます。</p> <p>本日は、これまで当会議におきまして昨年度よりアンケート調査を含めまして2年間にわたり、各方面からのお立場で様々なご意見をいただき進めて参りました、第2期高砂市子ども・子育て・若者支援プランの策定について、素案がまとまっております。</p> <p>本日はこの素案につきまして、様々なお立場で、各方面から再度ご確認いただきましてその後12月にはパブリックコメントを行う予定としております。またこのパブリックコメントの実施では、次期プランの方針にもございます、こども・若者の視点を踏まえた観点から小学生や中学生を対象としたパブリックコメントも予定をしております。</p> <p>本日は、各方面からの立場で、忌憚のないご意見を頂戴したいと考えておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。</p>

事務局	<p>これより会議の進行につきましては、委員長にお願いいたします。これまでの進行にご協力いただきまして、ありがとうございました。</p> <p>それでは、委員長よろしくお願いいたします。</p>
委員長	<p>こんばんは。ただいま部長からのごあいさつもございましたように、いよいよこの素案に対して、パブリックコメントを頂戴する前の最後の会議になっておりますので、確認をしっかりとしていきたいと思います。</p> <p>小学生、中学生の子どもたちからも、パブリックコメントをいただくという取り組みに向けて、子どもたちにも私たち大人が責任を持って、提案できる案を出していけたらというふうに思っております。</p> <p>それでは、議題に入りたいと思います。</p> <p>議題1「利用定員の設定及び変更について」を事務局から説明お願いします。</p> <p>2 議 題</p> <p>(1) 利用定員の設定及び変更について</p>
事務局	<p>【事務局より資料1に基づいて説明】</p>
委員長	<p>事務局からのご説明が終わりました。</p> <p>ただいまの説明につきまして、ご意見、ご質問等がございましたらお願いいたします。</p> <p>よろしいですか。</p>
委員長	<p>それでは議題2に移りたいと思います。</p> <p>議題2「高砂市子ども・子育て・若者支援プラン（素案）について」を事務局から説明お願いいたします。</p> <p>(2) 高砂市子ども・子育て・若者支援プラン（素案）について</p>

事務局	【事務局より資料2に基づいて説明】
委員長	<p>ただいま事務局からのご説明が終わりました。</p> <p>重要なところを、それから、新たに追記されたところ、そして、65ページからの施策の体系のところは、新たにこういうことをしていきますよという星印のついたところを中心にお話しただけかなというふうに思います。</p> <p>その中で、これまでの会議の中で委員の皆様から、出た意見を盛り込む形でまとめましたというご説明をいただいたかなというふうに思いますけれども、委員の皆様からご意見、ご質問等ございましたらよろしくお願いたします。</p> <p>そして、こう伝えたいと思う気持ちがそのままうまく市民の方たちに伝わるのかどうかというところも大事かなと思いますので、表現方法等に関しましても、わかりにくいとか、こうした方がいいというご意見があればぜひお聞かせいただけたらというふうに思います。</p>
委員	<p>19ページ「③小・中学校の不登校等の状況」の不登校等の状況の表に関する質問です。</p> <p>小学校・中学校に分けて、令和5年度から令和元年度まで人数が出てますが、気になった数値が小学校の不登校のこどもの増加です。令和元年度の25名からどんどん増えていって、令和5年度123名となって、中学校の不登校の増加に比べると小学校の増加が多いということで、1年生から6年生までの各学年均等に増えているのかどうか、それとも低学年が多いのか、或いは逆に高学年が多いのか、この内訳を知りたいのが1つです。もう1つは不登校の要因といいますか、体の調子が悪いのか、心の調子が悪いのか、或いは親御さんの在宅とか増えて学校に行かなくてもいいと思っているような親御さんが増えたのか、以上の2点について教えていただけたらと思います。</p>
委員長	ただいまのご質問に対しまして、事務局からよろしくお願いたします。
事務局	まず学年別ですけども、令和元年度の小学校1年生では1名だったのが令和5年度では13名というふうに増えております。

	<p>全学年で見ますと多いのはやはり4、5、6の高学年の方が多くなっておりまして、令和元年度から令和5年度で比べましても一番多いのはやはり6年生となっております。6年生について、令和元年は6名、令和5年は39名というような形で増加してきております。</p> <p>小学校でこのように増えたのは、今まで学校というものは小学生の間、行かなくてはいけない、親も行かせなくてはいけないというような意識、休まない方がいいのかなというような感覚が、一斉休校というようなことになって、心配だったら休んでもいいというような意識になって、学校に行かなくてはいけないというようなハードルが下がったということが考えられています。それと、生活のリズムの乱れも一度乱れてしまったときに、なかなか戻りにくいというようなことが考えられています。それから中学校であまり増えていないのは、中学校の方にはもともと別室という場所がありまして、教室に入りにくいお子さんはその別室に通って、そこで不登校支援員の方が1名ずついらっしゃるという形になっていたので、そこで対応できている、それで学校に登校したという形になっています。</p> <p>その別室が小学校にはなかったもので、今年度から、小学校にも別室を別室という名前ではなく、校内サポートルームという形で学校へ設置して、中学校と同じように支援員を配置しております。</p> <p>小学校の方はそれまで別室がなかったもので、例えば保健室であったり相談室であったりという場所に入って、保健の先生とか管理職、手の空いている先生とかが入り代わり立ち代わり対応していたというような状況です。そういう支援体制も小学校の方での増加を抑えられなかった原因なのかなということで、こちらの支援策を令和6年度から実施し、今の時点では昨年度と比べてそんなに大きく小学校の不登校数が増えていないので、ある程度校内サポートルームが効果を出しているのかなと捉えております。以上です。</p>
委員 長	<p>増加の懸念事項に対してすでにサポートルームというようなところで対応を始めた、というお答えでしたけれども、今の答えでよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>今のお話ではそういう身体面とか、精神面、コロナが要因じゃなくって、それ以外の要因によって不登校が増えているということで、学校に行かないといけないと</p>

	<p>いう意識の薄れで子どもたちが不登校になって、行く場所がなくなって困っていたというのが、ある意味で学校に行かなくてもいいかなという意識を持つ親御さんが増えたというのはコロナのメリットではないかなと個人的に思っています。</p> <p>分析してどのように対応していくかなというのをお聞きしたかったんですけども、サポートルームというような場所を小学校にも作ることで、不登校が減っているように、お聞きしました。なので、そういうものが充実していったら、うまくいけば学校に行かなくても、オンラインとかいろんなことができてきましたし、学校を卒業しなくても、進学とかできるようないろんな状況が増えてきたんで、学校にこだわらず、いろんなことを利用して、就学・就業というのを目指していける、いろんな社会になってきたと思っています。いろんな子どもさんがいて、多様化やいろんなことを言われる時代になりましたんで、学校の先生、子どもや親に学校に行かなくても他の道があるっていうのが、お互いに共通理解として、これから育てていくのは非常にいいことだと思っています。</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>子どもの学びの場が柔軟に選択できるようにして欲しいというご意見も、今の中には含まれていたかなと思いますので、事務局よろしく願いいたします。</p> <p>それでは、他にご意見ございましたらよろしく願いします。</p> <p>外国人のところって、会議の意見を受けて、いろいろと新たなものを作っていくというふうなご説明がございましたが、この中身に関して、どんな思いで今聞いてくださってるか感想、ご指摘、何でもよろしいですよろしく願いいたします。</p>
<p>委員</p>	<p>前回の計画には一言も外国人というワードがなかったので、外国人というワードが入ってるだけでも本当に素晴らしいなと思います。現状、高砂市民のうち日本人はすごく減ってるけど、この10月で外国人が1,500人になったっていうので外国人はやっばり増えてきています。それは働く場所が、浜手に企業があるからそれに帯同して、奥さんとか子どもとかも来ているので、96ページの外国人家庭の支援で、幼児とかの支援、学校での支援をしていくのもすごい大変だと思うんですけど、私たちも一緒にサポートしています。現状、日本語も英語もできない外国人が増えてきてると、翻訳ツールで音声がない言語、それこそ、今一番困ってる</p>

	<p>のはパキスタン人でパキスタンの公用語がしゃべれない、マイナーな言語しかわからない人で話せるけど読めないお母さんがいます。この言語はグーグル翻訳にあるけどそれが文字でしか出ない、音声がないので、今保育園の先生がそこで格闘してくださってるんですけど、それが今は高砂市国際交流協会が対応してますけど、そういう人がきっと増えてくると思うんですよ。</p> <p>現状、高砂市に仕事があるとか何をもって高砂市に住むことを選んでるかまではわからないですけど、高砂市を選んで住んでくれています。その仕事とか学校とか以外の住みやすさとか高砂市にしといてよかったなあ、こういう制度があって、市のサービスもあってとかが、外国人はSNSとか、口コミで情報がいって、外国人が増えているのが現状なので、ここは今後、もちろん他の子どもたちとも一緒だとは思いますが、支援が大事かなと思っています。外国人に対する支援は全体の分量でいうとすごく少ないかもしれないですけど、学校の先生とか、保育園こども園の先生が今、一番苦労されてると思うので、入れてもらってるだけすごく嬉しいです。</p>
<p>委員 長</p>	<p>意見を言うことが反映されていくということが非常によくわかる、この会議の流れかなと思いますので、ありがとうございます。</p> <p>何か他にございましたらよろしくお願いたします。</p>
	<p>委員</p>
	<p>まずは73ページの、事業No32208「学校施設の改善」というところです。ここはGIGAスクール構想で整備したICT環境を活用した教育を推進しますということだと思うんですけども、実際私が多分この中では一番若くて、小学校の子だったり中学校の子どもとも関わりがあるんですけども、ICTだったりタブレット等を使う授業は増えたけれども、使える先生はそれを使って授業をするけれども、使えない先生は今まで通り、別にそれに頼らずやってるっていうところで、やっぱり教員側の先生方の教育っていうのも非常に重要だと思うんです。なのでそのあたりを、どのようにご検討されているのかということと、市から学校の方にICTを使った授業をお願いしたとしても、それがどれぐらいの授業の比率で使われているのかっていうところって、すごく重要だと思うので、例えば市からKPIを設定することや、そのような検討をされるのかどうかという質問が1つ目です。</p>

	<p>2つ目が、80ページの表現のところに関して、事業No33104、シティブロモーション室の「若者チャレンジ支援窓口の検討」のところに関してなんですけれども、社会経験の少ない若者が地域で活動を始めてみたいときの支援窓口の設置ということだと思うんですけども、この文面だけ見ると私は、高砂市の中で活動をしたい若者を支援する窓口を設置しますよ、ということに、捉えたんですけども、例えば海外にこれから出て行ってみたいけれどもどうやってしたらいいかわからないとか、あとは全国的に、例えばボランティア団体を立ち上げてみたい、こういう活動を全国的にやってみたいっていう、高砂市に別にとらわれない活動でも、支援してくれるのか。もし後者なのであれば、ここの表現はちょっと改めた方がいいのかなっていうふう感じたのでちょっと質問として出させていただきました。</p> <p>まずこの二つお願いします。</p>
<p>委 員 長</p>	<p>それでは、1点目の学校施設の改善のところ、教員の研修とかになってくるんでしょうか。実情がどうなっているのか、そしてそのICT環境の整備の中に、人に対するというところが入っているのかどうかというご質問から、ご回答いただけたらと思います。</p> <p>よろしく願いいたします。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>まずタブレットが導入されて、そういうものに得意な先生、不得手な先生がいらっしゃるというのは、認識しております。そのような中で、こちらとしましてはICT支援員を各校に配置巡回するようしております。そういう中で先生方が教材研究する等、実際にその授業の中でICT機器を使う時にサポートしていただいております。</p> <p>もうタブレットが導入されて数年経ちますので高砂市教育委員会としまして、その先生方がどのように使ってるかというようなものを資料として、各校に配布して、共有するようにもしております。</p> <p>支援員の方も、それぞれの学校での取り組みを支援員ニュースというような形で作っていただいておりますので、その情報が1つの学校で止まることなく、16校あるすべての学校に展開できるように努めています。</p> <p>そういう中で年に1回、国県の方からICTの進捗について先生方にアンケート</p>

	<p>調査があるのですが、先生方の認識としましては平均よりよく使っているという認識であります。</p> <p>ただ、先ほどありましたKPIでどういう数値を定めるかというところはまだ決めてないんですけども、教育委員会が管理していますので先生方がどのように使っているかというアクセスとか、利用状況というのはこちらで把握できておりますので、そういうところで、今後もちろん学校の中で使える先生が使いにくい先生を教えていく、使っている授業を見て研究することになります。ただ私たちも授業を見に行くのですが、タブレットを使わなくてはいけないのかなと思う授業も正直ありますので、入っているから使わなくてはいけない、ではなくてタブレットも1つの文房具ですので、例えばコンパスが必要なときにコンパスを使う、分度器が必要なときに使うというふうに、タブレットを何のために使うのかというところがポイントになってくると思いますので、使っていないから駄目だというふうな認識ではありません。</p> <p>以上です。</p>
委 員 長	<p>今のご回答でよろしいでしょうか。</p>
委 員	<p>ありがとうございます。その通りだと思います。</p>
委 員 長	<p>次の2点目ですけれども、若者チャレンジ支援窓口の説明が、地域でという文言があるからだと思いますけれども、高砂市の中でというふうに受け取られるけれども実際そうなのか、それ以外の支援はないのかというところで、事務局よろしくお願いたします。</p>
事 務 局	<p>ご質問ありがとうございます。</p> <p>ボランティア団体も海外も支援したいですって、支援しますって言いたいんですけど、すいません高砂市の地域のことに特化してるのが高砂市役所だと思いますので、地域のことに詳しいという特性を生かした支援をしたいなと思ってます。</p> <p>例えば、イギリスに行きたいって言われた時、我々も相談された方と一緒にインターネットで調べて、頭を悩ませるような状態になると思います。それでも誰もい</p>

	<p>ないよりは良い、ということであれば相談を受けようと思うんですけど、がっかりさせるかなっていうのは今のところまだ始めてないので、いかんせんちょっとどうなるかがわからないところです。</p> <p>だから、全く拒絶するわけではないんですけども、得意分野は地域なのでちょっと地域を第1におきたいなと思ってます。海外とかそういう団体の立ち上げとか、行政書士、司法書士的な話になってくると思うんですけど、そこまでの支援ができるかどうかっていうのは、まだ一緒に頭を悩ますだけになるかなと思ってますので、今のところ地域でっていうふうにしたいと思ってます。状況を見て、経験を積ませてもらえたらなと思ってます。</p> <p>以上です。</p>
<p>委員長</p>	<p>誤解があるわけではなく、高砂市でということ意識して、地域でという文言が入っているというご説明だったかなというふうに思います。</p> <p>他にいかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>まず、この施策とかを見させていただいて、この会議での意見も反映されて、また新規の事業も、新たに取り組まれて、非常に大変だったろうなと、感銘を受けながら聞かせていただいております。</p> <p>その中でですね、私もちょっと関心のあるところがありまして、取組目標の配慮を必要とするこどもを、若者や子育て家庭の支援というところで、教えていただきたいことがございます。</p> <p>97ページのところで、SOSの出し方に関する教育というのが新規事業として挙がっていますが、本当に大事なことだなあと思って、見させていただきました。</p> <p>これまでの価値観でいうと、何でも自分でできなければいけないとか、そういう価値観があったと思うんですけども、今大学生と日常接していても、そういう価値観に縛られて、非常に苦しんでいる学生も結構いるんです。ひどいときには、希死念慮に繋がってしまうというようなこともあって、でもそうではなくって、本当に自立していくっていうことは、自分だけでやることではなくって、これからは必要なきときには助けを求めて、本当にSOSを出せるということがもう非常に大事な力になってくるなと思って、非常に期待をしているところです。</p>

<p>事務局</p>	<p>そこで、ちょっと質問になるんですが、そういう力をつけるために、心の健康の保持にかかる教育ということで書かれています。ちょっと私不勉強で、どういうものかちょっとわからなくて、このような内容の教育ですっていうのをちょっと教え願いましたら幸いです。よろしくお願いします。</p> <p>健康というものは主に保健体育なんかで、自分の心理、精神状態、不安であったりというようなことを学んでいくようなこともあるんですけども、学習だけではなくってやはり特別活動であったり、道徳、そういう学習の中でも、他者の気持ちを考えたりする中で、自分の気持ちにも触れていくっていうようなことがあります。</p> <p>そういう健康を、今から教育をするんですけども、このSOSを出すっていうことが、こどもはもとより、先生方、大人も、SOSを出せるかどうか、本当に一つの職場の中で自立するっていうことが、他の人にきちんと頼ることができる、自分がしんどい辛い時には、困ってる時にはこういう声を出せる大人がいて、それを大人が助け合っている姿を見ることで、こどもは大人も頼ってるんだから自分も頼ってもいいよねっていうような、学校の中で、そういう普段からの雰囲気を見せるのも一つ、日常の大きな教育だというふうに感じております。</p> <p>その中でももちろん大人が気づいてあげて声をかけてあげて、こどもがちよっとしんどいねとか、それを具体的にすることで今まだ研究段階なんですけども今入ってるタブレットに心の天気っていうワードがあります。今日は曇りだな、今日は晴れだな、今日雨だな、それを、例えば雨って出したこどもに対して、先生方が何かあったの、というふうに気づいて声をかけるっていうようなところを今研究しているところです。</p> <p>以上です。</p>
<p>委員</p>	<p>ありがとうございます。私も元小学校教員でしたので、今の大人もSOSを出せるというのを非常に共感しました。</p> <p>大人のそういう姿を見るのが、こどもたちにとっては、自分たちもSOSを出して良いという安心感に繋がるとお思いますので、ぜひこういうすばらしい施策はアピールしていただいて、こどもたちも大人もSOSを遠慮なく出せるような、そういう高砂市になったらいいなと思いました。</p>

<p>委員長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>他にいかがでしょうか。ございませんか。</p> <p>ちょっと私からも、内容にかかわるといふか、本当に表現上の問題なんですけれども、5ページのところに、乳幼児期から青年期までのこどもたちの、イラストがありまして、これ今頂戴してるのが白黒なので、色がよくわからないんですけども、ジェンダーの観点から見たときに、女の子がみんな髪の毛が長いなという感じでスカート履いてるなとかいうのが、ちょっと気にはなりました。</p> <p>ただ制服なので、思春期のところは現状がほぼこの制服の形が多いので、仕方がないのかなと思いつつも、例えば学童期の服装、青年期の服装のところ、少しジェンダーの観点からご配慮いただくような色遣いだとか、服の形にさせていただけるのがよいのではないかということも思ったのが1点です。</p> <p>それから65ページ、とっても施策の体系わかりやすいなあとこの照合もできますし、見やすいなと思いつつも、今日ご説明聞きながら、4-(2)-⑧だけが文章、動詞で終わってるんです。内容の問題ではないんですが、体言止めでそろえることができたらいいなとも思います。</p> <p>次は、内容に若干入るのかもしれませんが、106ページの評価指標一覧のところで、基本方針4の一番最後、要保護児童対策地域協議会の開催回数を増やすってことがあるんです。ただ、開催の必要があればもちろん増やさなければいけないんですけども、これが増えるってことは、他にしっかりした対応ができていないから、要対協の対象になるような、こどもが登場したという見方もできなくはないのかなと思ったときに、これを増やすことは良いのかなということが気になりました。要保護児童対策地域協議会は単純に増えると、あまり良い状況ではないというふうにも考えられるのではないかと思いますので、私の意見も付け加えさせていただきたいと思います。</p> <p>ただ、またご検討いただけたらいいってことですので今特にご回答どうのこうのではございません。よろしくお願ひいたします。</p>
<p>委員</p>	<p>ちょっと疑問といふか、気になったことがあったんですけど、98ページの見守りカメラの運用っていうのがあると思うんですけど、これは見守りカメラをこれか</p>

	<p>らたくさんつけていくということなのか、もう今すでにたくさんカメラをつけてくださってるのか、どうなのかなと思いました。結構最近でも、この見守りネットメールを毎日見させてもらって、とっても助かってるんですけど、怖い情報も毎日のように届きます。上の子が小学生なんですけど、結構通学路も長くて1人になっちゃう道とかもあるので、私も見に行くようにはしてるんですけど、やっぱりどうしても1人になっちゃう日もあって、最近も男の人に声かけられてとかも聞くんで怖いなと思いました。ちょっと気になったんですけど、もしこれからカメラの数を増やしていくとかであれば、ここに防犯カメラがありますみたいなのが、あった方が、変なことしにくくなるのか、そんなことせず実はたくさんカメラがある方がいいのかちょっとわからないんですけど、今の段階ではどういう状態なのかなって聞いてみたいなと思いました。</p>
<p>委員 長</p>	<p>現状がどうなっているのか、そしてまた、今後どういう方向性で考えておられるのかについてご回答いただけたらと思います。</p> <p>事務局よろしくお願いたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>この見守りカメラの運用につきましては、本市では、各学校の通学路ですとか、学校周辺を中心に見守りカメラを300台設置しております。</p> <p>令和5年度4月からこの300台の見守りカメラの運用がもうすでに開始をされておるところでございます。令和6年度につきましては不審者情報の発生箇所周辺に、200台設置を今年度にする予定としておるところでございます。</p> <p>現状としてはそういう形で、高砂市としては見守りカメラの設置を5年6年というところで、それぞれ学校と、その他の危ないような箇所に設置したというところでございます。</p>
<p>委員 長</p>	<p>今のご質問の中に、どこに設置しているかということの場所を明示することがいいのか悪いかわからないけれどもどうですか、という点についてはいかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>実際私も通学から一緒に歩いて、カメラがあるか思ったことないんで、それ</p>

事務局	<p>が実は300台もあったんだと思うと、ありがたいです。たくさん考えてくださって、カメラの場所を明示するしないに関しての事務局の考えは特に大丈夫です。</p> <p>通学路上向いて、電柱なんかにもカメラらしきものがあつたりするので、上を見上げていただいたら、普段なかなか上向いて歩かないのでわかりにくいかと思うんですけども、学校周辺の通学路には、300台設置して、また不審者情報でありますとかちょっと暗いとか、そういう事件性があるような場所についても、200台今年度設置しております。カメラの場所については、担当が今日来ておりませんので詳しいご説明はできないんですけども、またそういったところも含めまして、ホームページとかでもお知らせはしてるかと思うんですけども、設置をさせていただいたというところでございます。</p>
委員	<p>1点だけ意見を言わせてください。</p> <p>98ページの事業No42807「防犯・防災出前講座の実施」というところで、学校や園に出向いて出前講座をされてると思うんですけど、青年期以降にもやっていますよね。</p> <p>「青」のライフステージ上に対して行われている防災に関しての施策が、85ページにある合同防災訓練のみとなっております、例えば84ページには、ほぼ全世代対象で交通安全教室であったり、啓発事業が推進されてると思うんですけども、防災講座であったりその防災意識というのが実際に自分で自分の命をしっかり守らないといけないライフステージに入っている子たちに対しての施策は少し抜けてるような気がするので、そこを可能でしたら、ご検討いただきたいなところですよ。</p> <p>以上です。</p>
委員長	<p>ご意見がございましたので、事務局からご回答いただけたらと思います。</p>
事務局	<p>ご指摘の通りだと思います。</p> <p>おそらくこの事業No42807が、学校・園としか書いてないのでここに丸をつけてるんですけど、まちづくり出前講座と言いまして、自治会の方とかもどなた</p>

	<p>でも、グループを組んでいただいたら、職員が講師として派遣してお話するものが ございます。</p> <p>そこには、防犯対策のお話ができますというふうに登録されておりますし、実際 呼んでいただいて活動したこともございますので、ここは単純な漏れになっている と思われまので、表現を合わせて担当課の方と調整したいと思います。ご指摘あ りがとうございます。</p>
委 員 長	<p>貴重なご意見ありがとうございました。</p>
委 員 長	<p>それでは次に進めさせていただきます。</p> <p>議題3「高砂市子ども・子育て・若者支援プランのパブリックコメント実施につ いて」を事務局からご説明お願いいたします。</p> <p>(3) 高砂市子ども・子育て・若者支援プランのパブリックコメント実施について</p>
事 務 局	<p>【事務局より資料3に基づいて説明】</p>
委 員 長	<p>ただいまのご説明につきまして、ご意見、ご質問等がございましたらよろしくお 願いいたします。</p>
委 員	<p>一つ質問をさせてください。こどもたちを対象としたパブリックコメントだと思 うんですけども、具体的に小学校何年生から何年生までなのか、っていう詳細を 知りたいです。よろしく願いいたします。</p>
事 務 局	<p>こちらのこども版のパブリックコメントにつきましては対象年齢を定めず、すべ てのこどもを対象にしております。</p> <p>0歳とかのこども自身が意見を表明するっていうのは、なかなか難しい年齢でも あるかと思うんですけども、あくまでもこのプランにつきましては年齢を定めず、 すべてのこどもということにしておりますので、こども版のパブリックコメントに つきましてもすべてのこどもを対象にしております。</p>

委員	<p>ありがとうございます。年齢を定めないというのはとてもいいかなと思います。ただ、パブリックコメントのやり方自体を私がいあまり把握してないんですけども、小学校とかでも配ったりはするんですか。</p>
事務局	<p>小中学校に対しては個別配布という形ではなく、児童や生徒に貸与しておりますタブレット端末に表示ができるように案内をしようと思っております。</p>
委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>教職免許持ってらっしゃる先生方にお聞きしたいんですけども、低学年でこの文章はわかりにくいかなと、防災教育をやってる身としては思うんですけども、いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>文面に関しましては学校にタブレットで配信となりましたら、おそらく担任の先生とかが説明をしながらという形もとれるのかなと思います。一律、小学校1年生から6年生までということは今仰っていましたが、そのあたりは、何かしらのフォローが必要になってくる可能性は当然あるかなと思います。その辺りはまた相談させていただきながら進めさせてもらえたらなと思います。</p>
委員長	<p>他にいかがですか。</p> <p>実際に家に小さな子どもがいますとか、子どもと関わっておられるという委員の方々、これが子どもたちに向けて発信したときに、どういう反応になるだろうかっていうのは、いかがでしょう。</p> <p>少しうまくいくんじゃないですかとか、これだったらっていうようなところも、事前に聞かせていただきますと、いい形で、子どものパブリックコメントをとっていけるかなと思うんですけども。</p>
委員	<p>このパブリックコメントは、子どもから聞いて何か返答するんですか。</p>
事務局	<p>パブリックコメントにつきましては、頂戴したご意見に対して一つずつ回答とい</p>

委員	<p>う形ではない予定となっております。</p> <p>頂戴しましたパブリックコメントを今回の次期プランに反映できたら反映を検討していく、ご意見の意図を酌みながらプランに反映するというご回答、という形で、個別に答える対応は予定しておりません。</p> <p>こどもの意見を聞く中で、そのこどもの意見が反映されてるってやっぱ実感がな いとやっぱり、今回のこどもの意見を聞くって意味がないかなと思うんで、1 個1個返答しないとしても、何らかの形でこどもにわかるような形にしてあげたら いいなと思います。</p>
委員長	<p>私も当然返答あるものだと思って考えておりました。</p> <p>一般的に市民の方たちのパブリックコメントに対しては、幾つかまとめてのご返 答の時もあるでしょうが、必ず応答されるので、こどもだから応答がなくていいと いうことであれば、せっかくこのこども基本法に基づいて進めていこうとされてる のが、ちょっと後退してしまうような気がします。</p> <p>ぜひ多くの委員の方たちも頷いておられますので、何らかのご回答いただけるっ ていうことで検討していただきたいというふうに思います。</p>
事務局	<p>ご意見に関しては個別に本当にどれだけ来るかっていうのが、こどもに対しての パブリックコメントが初めてになりますので、本当に一問一答という形でご回答で きるかどうかはまだわからないんですけれども、できるだけ対応をしていきたい と考えております。</p> <p>意図を汲んで同じようなものを、ちょっとある程度まとめての回答になるかもし れませんが、パブリックコメントに対しての回答は、この素案に関するもの に関しては作りまして、こちらの会議でも諮った後に、ホームページ等では公開を していきたいなというふうに思います。</p>
委員長	<p>ぜひ、よろしく願いいたします。</p>
委員	<p>せっかくタブレットを使って、アンケートを集計するならタブレットに返す方が、</p>

事務局	<p>子どもたちは確実に見てくれると思うんで、ホームページに上げるんじゃなくて、タブレットにこんな意見がありましたという、子どもたちの意見を上げるだけでも違うと思うんで、タブレットをうまく活用されるのがいいかなと個人的に思いました。</p>
委員長	<p>ぜひ、そのようにさせていただきたいと思います。ご意見ありがとうございます。</p>
委員長	<p>とても子どもをまんなかに置いた、議論が進んできているかなと思いますけれども、学校のご協力もいただくんだっていうことが手に取るように見えてきて、縦割りではなく、子どもをまんなかに置いて、いろんな機関や部署の方たちの力を合わせて、高砂市の子ども施策が進んでいくんだなと、すごく充実感を持って今ここに座っているんですけども、他にいかがでしょうか。</p> <p>この議題3に関するご質問等ございますか。</p>
委員	<p>パブリックコメントについて少し教えていただきたいんですけども、タブレット端末で回答してもらおうっていうのはすごくわかりました。ただ、自由記述になって、例えばこれがタブレット上に見えていて、そのあとに回答欄があってそこに子どもたちが自由記述で打つのでしょうか。子どもたちが回答している映像があまり想像できなくて、おそらく私が小学校6年生だったとしても、これを全部読んで、6番の漢字の羅列を見た瞬間にページを閉じるかなというのが、ちょっと正直なところです。例えば選択肢だったら子どもたち少しは答えやすくなったりすると思うんですけども、具体的な取り組みの事例を載せてると思うんですけども、この中で、これいいなって思ったのありますかとか、それがパブリックコメントとして良いのかどうかは一旦置いて、ちょっとこれだけだと先生方から補足があるとしても、わかりにくいかなと思います。もし今の時点で、どんな感じで子どもたちが回答をするのかっていうのが決まったら教えてください。</p>
事務局	<p>今資料の方は、こういう形でということでお示ししてるんですけども、回答フォームに関しては、まだ細かな検討ができていない状況なんです。自由記述とは思っていたんですけども、委員のご意見をお聞きしまして、何でもいから書いて</p>

委員 長	<p>というのは子どもにとっては難しいかなと思いますので、今いただきましたご意見の方も参考にさせていただきながら、工夫できるように考えてみたいと思います。</p> <p>ありがとうございます。</p>
委員 長	<p>子どもが意見を寄せたくなるよう、パブリックコメントの求め方っていうのをさせていただけたらというふうに思います。</p>
委員 長	<p>それでは議題は以上ですので、その他として、次回の会議日程について事務局からご説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>3 その他</p> <p>次回の会議につきまして、高砂市子ども・子育て・若者会議を2月上旬に開催する予定としております。日程につきましては現在調整中のため、後日改めてご連絡いたします。ご多用かと存じますがご出席いただきますようお願いいたします。</p> <p>次回の会議日程についてのご連絡は以上となります。</p>
委員 長	<p>議題は以上となりました。</p> <p>それでは、以上をもちまして、令和6年度第3回高砂市子ども・子育て・若者会議を終了いたします。本日はありがとうございました。</p> <p>会議の進行を事務局へお返しいたします。</p>
事務局	<p>4 閉会</p> <p>委員長並びに委員の皆様まことにありがとうございました。これをもちまして閉会とさせていただきます。</p> <p>どうもありがとうございました。</p>